



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.9
令和3年10月7日
文責：校長 福島

遠足の日



手をつながない「花いちもんめ」…かな？

昨日は遠足でした。できてよかったです。

朝、私は当たり前のように校門に立って子供たちを迎えましたが、子供たちは当たり前ではないのです。明らかにみんなうれしそうな顔をして登校してきます。「毎日遠足にしてあげたいな」と思うほどです。6年生に「遠足うれしいですか。」と尋ねると、「めっちゃうれしいです。楽しみにしていました。」という元気な返事が返ってきました。登校時間もいつもより5分ほど早くなります。お子様も早く起きてきたのではないのでしょうか。

校長をやっても遠足の日は何だかウキウキするものです。私は高学年と一緒に歩いて月の浦近隣公園まで行きました。歩きながら子供たちと色々な話をしました。フライドポテトはどこのお店がおいしいか・ハウステンボスのおすすめアトラクション・塾で習っていること・バスケットの話・先祖のお墓・将来の夢 等々、興味を持って聞いていると10分でも20分でも話してくれます。どの話も実に楽しいです。じっくり子供の話の話を傾ける時間ってなかなか取れないですね。子供の心を安定させるためには、話を聞いてあげることが大切だと言われます。

5年生が「一緒にお弁当を食べましょう。」と誘ってくれました。うれしいですね。お弁当を食べながら色々な話を聞きたいところですが、今は我慢です。

すてきな子供の姿にたくさん出会いました。歩道を歩いている時に「自転車が通るからみんな開けて。」と声をかける5年生、帰りにくたびれて足取りが重くなった友達に、性別関係なく寄り添って時々肩をたたきながら学校まで励まし続ける6年生、足の調子が悪くなり私が一緒に歩いた子供は、今朝校門で「校長先生、昨日はありがとうございました。」と声をかけてくれました。

「潤いのある学校」の中で子供の育ちを感じたうれしい「遠足の日」でした。